



もりや仙一郎便り

県政報告
Vol.46



農地法面の草刈り

農地維持支払



水路の泥上げ



水路のひび割れ補修

資源向上支払



植栽活動

農地の共同管理に補助金

雑草刈り取り・除雪など10坪当たり2千円を交付

農林水産省は新たな農業・農村政策として「日本型直接支払制度」を創設しました。

同制度は、農地を維持するための活動や、資源を向上する地域活動・営農活動を行った集落に補助金が交付されるもの。

対象となる活動は、耕作放棄地を防ぐための雑草の刈り取りを行った場合や、集団での除雪作業、農道の砂利補充、あぜや水路の補修、花などを植栽し、環境の美化を図るなどが挙げられます。これまで、

農林水産省は新たな農業・農村政策として「日本型直接支払制度」を創設しました。同制度は、農地を維持するための活動や、資源を向上する地域活動・営農活動を行った集落に補助金が交付されるもの。対象となる活動は、耕作放棄地を防ぐための雑草の刈り取りを行った場合や、集団での除雪作業、農道の砂利補充、あぜや水路の補修、花などを植栽し、環境の美化を図るなどが挙げられます。これまで、

山形県議会2月定例会(3月5日) 質問内容

- 1 国道48号線の整備促進に向けた取り組みについて
- 2 「いのちの教育」について
- 3 知的障がい特別支援学校の整備について
- 4 日本型直接支払制度について
- 5 山形空港の利用促進策について

◆予算特別委員会副委員長
◆農林水産常任委員会委員
拝命しました

県議会2月定例会で質問



県民目線で農業・インフラ・教育について訴え

県議会2月定例会・予算特別委員会で、左記の項目について質問しました。今号では一部抜粋し、ご紹介いたします。

国道48号線の整備促進に向けた取り組みについて

▼森谷仙一郎

ことし2月の大雪で、国道48号線・宮城県側の峠で発生した雪崩は、車を巻き込む事故にはじまり、長期間の通行止めを余儀なくされ、山形と仙台の物流、ビジネス、観光に影響を及ぼした。東日本大震災以降、本県と隣県を結ぶ横軸幹線道路の重要性が再認識されているが、国道48号線は昨年と同じ時期に大雪で通行止めになっている。対策をはじめとした防災対策などを早急の実施していくよう要望した。さ

▼吉村知事

国道48号線の整備については宮城県の村井知事に呼びかけ、土井国土交通大臣政務官に対し、安全・安心を確保する雪崩対策をはじめとした防災対策などを早急の実施していくよう要望した。さら

▼森谷

国道48号線道路整備促進大会は天童市・東根市が連携して行っており、知事をご来賓でお招きした。今後の同大会はぜひ知事がトップとなり進めて頂きたい。そして、仙台市などと連携し強い訴えを行って欲しい。

これらの活動を行った場合、同制度において特筆されるべきなのが、果樹地帯の農作業道の「除雪」にも活用できる点です。さらに、活動する組織が農業者のみの場合でも支給対象になりました。これは各組織の負担軽減に繋がります。早急な周知をお願いしたいと思っております。国・県に訴えてきた「除雪」が対象となったのは悲願であります。皆様から頂いたご要望が実となり、うれしく思っております。



山形空港を利用しよう!

ことし3月30日から増便となる山形—羽田便に期待が集まっています。増便は、国土交通省が行った政策コンテストで山形県が勝ち抜き実現した訳ですが、この先を保証するものではありません。今後2年間を使用期間とし、その後の継続使用は2年間の利用者数や取り組みを勘案して決定されます。さらに、3年半ぶりに復活した名古屋便は、採算ラインを達成するのに、1万人の上積みが必要とのことでした。

運行継続をするために、ぜひ、みなさんも観光・ビジネスで利用をお願いします。

各市町村をはじめ、J機関・団体と連携し、準備のできた活動組織から順次採択を行い、「農地維持支払」を積極的に活用できるようにスピード感をもって取り組む。



村山特別支援学校の増築工事

特別支援学校の小学部の分校整備を中心とし、ことしから天童市をはじめ県内に4つの分校(小学部)が開校する。これは大変喜ばしいことだが、やがて中学生になれば、天童市の生徒は山形市や村山市に通わなければならない。

知的障がい特別支援学校の整備について

▼森谷

ことし1月、私は山形豊学校、村山特別支援学校、榎岡特別支援学校、山形養護学校を視察した。村山特別支援学校に在籍する児童・生徒数134名のうち、高等部の生徒は約半分を占める。県内全体を見ると、整備の必要性を感じた。昨年4月策定された「山形県特別支援学校再編・整備計画」は知的障がい特別支援学校の小学部の分校整備を中心とし、ことしから天童市をはじめ県内に4つの分校(小学部)が開校する。これは大変喜ばしいことだが、やがて中学生になれば、天童市の生徒は山形市や村山市に通わなければならない。

けない。中学・高等部まで地元の学校で学べる環境の充実を図るべきである。今後の中・高等部の整備についてどのように考えているか。

▼教育長
東村山地域では特別支援学校対象の児童・生徒が急激に増えており、村山及び榎岡特別支援学校の増築を計画し進めている。そのうえでも教室不足が想定されるため山形市及び天童市に小学部の分校を設置するに至った。設置定で、平成26年度予算に計上している。

もりや仙一郎事務所

ご意見を募集しております。FAX・メール・ブログでこうして欲しい! ココが問題! 改善して欲しい...など 頂けると幸いです。

☎023-651-5539 FAX023-651-5549

〒994-0013 天童市老野森 3丁目 4-17

もりや仙一郎

検索

ホームページ <http://www.10016.jp/>

facebook 友達登録をお願い致します。



QRコードでアクセス

